

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語では、「漢字を書く力」や「文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する力が、全国平均を上回っている。 ○数学では、「指数を含む正負の数の計算」や「連立方程式を解く力」が全国平均を上回っている。 ○1, 2年生の国語と数学では、県平均を上回っている。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語では、文を書く力が、不十分である。 ▲数学では、活用問題を解くための基礎的基本的な学力の定着に課題がある。 	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家で学校の予習や復習をしている生徒の割合が、県平均よりも高い。 ○学校の授業以外に、普段1日あたり、1時間以上勉強している生徒の割合が、県平均よりも高い。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲「自分で計画を立てて学習している」生徒の割合が、学年が進むにつれて、減少している。 ▲1日あたり1時間以上勉強する生徒の割合が、学年が進むにつれて、減少している。

改 善 策
学 校 で の 取 組

- 1 生徒が主体的に学ぶための鴨中スタイルの構築を行う。
 - (1) 毎時間の授業でめあてを明確にし、まとめ、振り返りを行う。
 - (2) 毎時間の授業の流れを示し、見通しのある授業を行う。
 - (3) 授業の中でグループ等での言語活動の時間を設けたり、文章にまとめて発表したりする活動を増やす。
 - (4) 家庭学習の習慣化を図るよう、生活ノートの記入内容を見直し、家庭での学習時間の計画を立てやすくする。
 - (5) 計画を立てて学習ができているか、生活ノートの確認を行う。
- 2 落ち着いて学習に取り組める集団づくりを行う。
 - (1) アセス等を利用して学習集団の理解を推進する。
 - (2) 集団づくりのために学級活動、道徳、行事などで意図的取組を行う。

中 学 校 区 で の 取 組

- 1 中学校区内の各学校の研究授業・研究協議に相互参加し、授業技術を研鑽すると共に授業の進め方について情報を共有し、中学校へのスムーズな接続を図る。
- 2 中学校区内の各学校で、中学校の定期テスト期間にあわせてノーメディアウィークを設け、メディアコントロールによる生活習慣の改善を図る。
- 3 家庭学習や生活目標、学校のきまりについて情報交換をし、小中が連携してレベルアップするような取組を行う。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 1 望ましい生活習慣の確立のため、早寝早起き朝ご飯やメディアの接し方のコントロールをお願いする。
- 2 学校の教育活動を学校便り・ホームページなどを通じて知らせることにより、教育活動への理解と協力をお願いする。